

# 太陽光発電所

## 進出協定調印式を行いました

本町は、下市と押平にある町有地を借り受けて太陽光発電を行う事業者2社と、7月9日(水)に進出協定調印式を行いました。

調印式では、発電事業者の「ATシステムズ」(東京都)の田内学代表と「株式会社

社シーエナジー」(名古屋市中区)の山田登紀彦代表取締役社長と森田増範町長が協定書を交わし、立会人である鳥取県環境立県推進課課長と町議会議会議長に協定が成立したことを確認していただきました。事業の期間は20年間。太陽



▲町長を囲んで撮影  
(左から2番目が田内代表、右から2番目が山田社長)

光発電所の建設は、遊休町有地の解消に貢献できるとに加えて、借地料や固定資産税といった収入が見込めることや、再生可能エネルギーの構築、地元企業への経済効果などが期待できます。



▶販売を東川町職員がお手伝い

# 北海道・東川町(大雪山) ひがしかわ

## 「山のまつり」に参加

「大雪山」と「大山」の名前つながりで交流している東川町で、6月21日(土)に行われた「山のまつり」(旭岳の山開き)に大山町のブースを出店しました。

当日は雨も降らず、大勢のお客さまでにぎわう中、大山ハーブチキンカレーの販売と、大山町の観光PRをしま

## 香取舞台の映画ができました!

映画「夏を越える少年たち」の上映会が、6月29日(日)に香取の香雲荘で開かれました。この作品は、「さぬき映画祭2014」(香川県)で優秀企画上映された自主製作映画です。香川県栗熊(くりくま)からの入植者たちが開墾して作り上げた香取村の歴史的背景をもとに描かれた作品です。

脚本・監督は添谷泰一さん(米子市)で、スタッフや役者には鳥取県内の人々も携わっています。ロケ地にも



▲開拓当時の様子話す大林さん(左から3番目)

脚本・監督は添谷泰一さん(米子市)で、スタッフや役者には鳥取県内の人々も携わっています。ロケ地にも